第四回薩摩地区駅伝競走大会

鶴田Aが準優勝

Bチームは九位

十二月九日（日）、薩摩地区駅伝競走大会が開催されました。今年は東郷町を発着地として行われ、各町の代表（鶴田、宮之城、祁答院、東郷から二チーム）十一チームが出場し、健脚が競われました。

大会は、十五区間四十・八キロメートルで競われ、八区でトップにたった宮之城Aチームが優勝しました。鶴田町Aは二区、六区でトップに出る場面もありましたが、二位でゴールしました。また、Bチームも健闘し、九位でゴールしました。

閉会式では、チーム表彰と併せて、永年出場選手への表彰も行われ、本町からも二人の選手が受賞されました。

大会の結果と、出場選手は次のとおりです。（区間順・敬称略）

（※印は区間賞）

優勝　宮之城A　2時間14分07秒

二位　鶴田A（梅木田哲也、大園栄一、井上悟、大窪清美、平田和幸、東也真登、柳田和房、濱田良太、久保美緒、栗野惇、愛甲慧、外園和也、※井手原円香、東雄一郎、南原武博）　2時間16分06秒

三位　祁答院A　**四位**　入来

五位　東郷A　**六位**　薩摩

七位　祁答院B　**八位**　宮之城B

九位　鶴田B（市場学、橋之口聡、松清浩和、下大迫真未、南崎利信、濱田龍児、上村直也、柳田貴志、栗野真子、上屋敷京平、神上園和人、栗野靖郎、海江田友美、外園智史、米丸満男）2時間30分13秒

十位　東郷B　**十一位**　樋脇町

◇永年出場選手

十一回出場　南原武博

十回出場　大園栄一

東郷町役場前を一斉にスタートする各町選手

永年出場選手の大園栄一さん㊧と南原武博さん㊨

見事区間賞を獲得した井手原円香さん（紫尾小学校６年生）

いちごプランター出荷　　今年は１２月下旬に完売

１２月４日（火），神子の濱島幸一さんのビニールハウスで，プランターいちごの出荷式が行われました。今回は、神子の濱島幸一さんと栗牧伸一さんの２人がそれぞれ栽培し、合計４５０鉢が用意されました。

このプランターには「さつまとよのか」が２株づつ植えてあり，５月頃まで実をつけるそうです。例年，クリスマスのプレゼントなどで喜ばれ，１月下旬頃まで続けられますが，今年は県外からの注文も多く１２月下旬には完売したそうです。

箱詰めは手作業で行われました

鶴田合戦600年祭

鶴田氏の子孫が記念碑を除幕

鶴凧・鷹踊りも披露

十二月九日（日）（旧暦十月二十五日）鶴田の田間田地区で鶴田合戦六百年祭が開催されました。

鶴田合戦は、渋谷四族（東郷氏、祁答院氏、入来院氏、高城氏）と同族の鶴田氏の戦いで、渋谷四族は島津伊久に援助をもらい鶴田に攻めてきました。鶴田氏は島津元久に助けを求め、渋谷方には、人吉の相良氏、大口の牛屎氏も加わり、総勢一万人にも及ぶ大合戦となりました。この争いが応永八年（一四〇一年）旧暦十月二十五日にあり、今年六百年目をむかえることから、島津氏や鶴田氏の子孫も招いて行われました。

六百年祭には、町内外から約二百人が参加し、史跡や合戦の歴史的背景についての説明があり、供養塔とされている首塚で、慰霊祭が行われました。

慰霊祭では、島津氏、鶴田氏の子孫の方々も玉串を捧げ、戦没者の御霊を弔いました。その後、前川の神崎橋河畔で「鶴田合戦古戦場」と刻まれた記念碑の除幕式があり、町長や議長、島津氏、鶴田氏の子孫の方々による除幕や玉串が捧げられました。

また、町内の鶴凧の会が作成した鶴凧あげや大角集落の鷹踊りも披露され、祭りを盛り上げました。

午後からは、場所を中央公民館に移し、鹿児島大学法文学部教授の原口泉先生により「鶴田合戦六百年…蘇る鶴田の力」の演題で記念講演が行われ、鶴田合戦の背景や六百年の歴史についての話に参加者は聞き入っていました。

古戦場跡の田間田と首塚の上空を舞う鶴凧

記念碑の除幕

大角地区の鷹踊り

子孫により玉串が捧げられました

原口先生による講演